

第60期

2019年度
(2019年7月1日～2020年6月30日)

環境経営レポート

ビルの総合管理を通じて社会に貢献します



* 広島管財株式会社

<http://www.hr-kanzai.co.jp>

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲およびレポート対象期間・発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営活動計画
6. 環境経営目標の実績
7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、
次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1-1. 組織の概要

事業所名	広島管財株式会社
代表者	代表取締役社長 川妻 利絵
所在地	広島市中区大手町5丁目7番17号
環境管理責任者	事務管理部 課長 片山 博文
担当者	事務管理部 横畑 義一
連絡先	☎ 082-243-5501 FAX 082-241-4323
従業員数	183名
床面積	460m ²
認証登録範囲	認証登録組織：全組織（本社及び現場）
対象期間	2019年7月1日～2020年6月30日
発行日	2020年8月31日

事業概要

		売上高（単位百万円）
第58期	2017年7月～2018年6月	731
第59期	2018年7月～2019年6月	742
第60期	2019年7月～2020年6月	706

総合ビルメンテナンス業	
建築物環境衛生管理業	豊富な経験とノウハウでお客様の建物の維持・環境衛生管理に貢献いたします。今後、全社員環境衛生士取得を目指し清潔な環境を提供することでお客様のビジネスの効率アップに貢献します。
建築物飲料水貯水槽清掃業	
建築物ねずみ昆虫防除業	
ビル建物清掃	
警備業	豊かな経験・専門知識で警備にあたり、利用者の立場を考えた迅速な行動と安全性の確保に努めています。
ビル設備保守運転管理	高い技術力でお客様の大切な建物を保守・コントロールしながら、快適な空間を維持管理し、ライフサイクルコスト削減に協力します。
Lapica	ハウスクリーニング・整理整頓
施設サービス	寮管理 ご両親、ご家族に安心をお届けします。
みどりのポスト	紙のリサイクルとセキュリティの両面を あわせもつ「みどりのポスト」

1-2. 組織の概要

事業紹介



掃除に片付け **X** すっきり

Lapica

ハウスクリーニング・整理整頓など、より快適な住環境のトータルライフサポート。確かな教育を受けた女性スタッフが中心となり、お客様に安全で安心していただけるサービスを「Lapica」ブランドがご提案いたします。

みどりのポスト

リサイクルとセキュリティの両面をあわせもつ「みどりのポスト」



2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

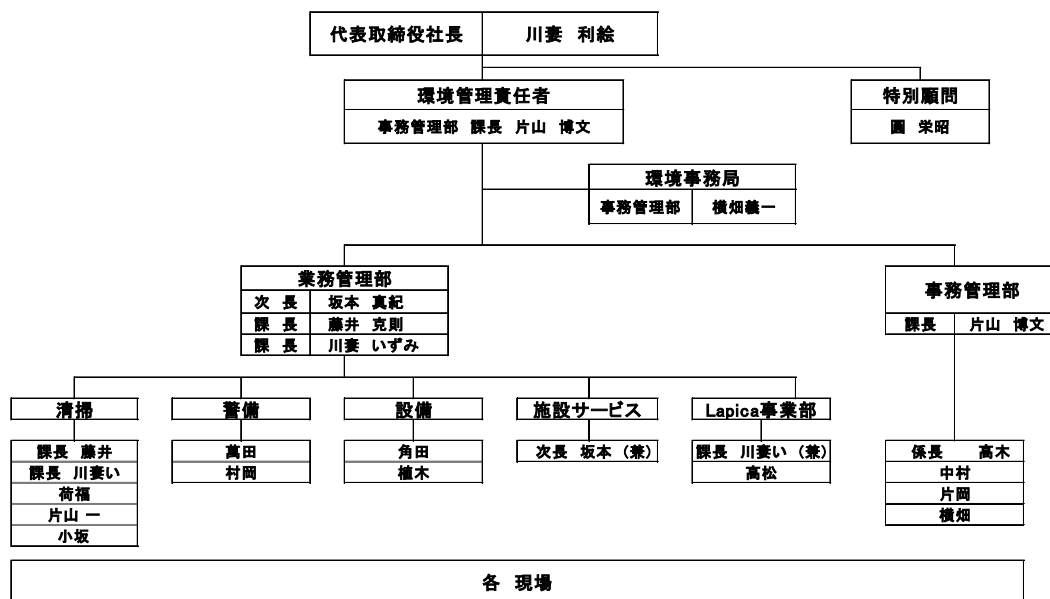
対象範囲 凡例

●レポート対象期間：2019年7月1日～2020年6月30日

●レポート発行日：2020年8月31日

改定：2020/7/1

広島管財株式会社 環境経営システム組織図



役職・組織	役割
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営計画書を承認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境経営計画の実績集計 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと事務局への送付)
部門長 <ul style="list-style-type: none"> 業務管理部 次長 事務管理部 課長 	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する環境活動の啓蒙 特定された項目の運用管理 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

当社は環境問題を重要な経営課題の一つと捉え、環境に配慮した企業活動を実践することが重要な社会的責任であると認識しています。

ビルの総合管理を通じて社会に貢献することを目指すなかで、利用者に快適な環境を提供すると共に、ますます深刻化する地球温暖化に対し、その責任を果たすために全従業員が参画し清掃・設備点検・警備業務での効率化により省エネ・省資源と廃棄物の削減を進め、温室効果ガス排出量削減への貢献と資源循環の促進に努めてまいります。

〈 環境保全への行動指針 〉

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減とリサイクル推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 環境に配慮した資機材の利用及び販売促進
- ⑤ 労働生産性向上への取組推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、「エコアクション21」の定着を図ります。

- 2. 地域社会における環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
- 3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 4. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

2008年12月 1日 制定
2019年 4月24日 改定

代表取締役社長
川妻 利絵

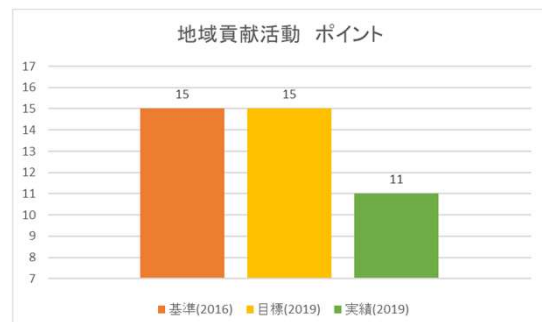
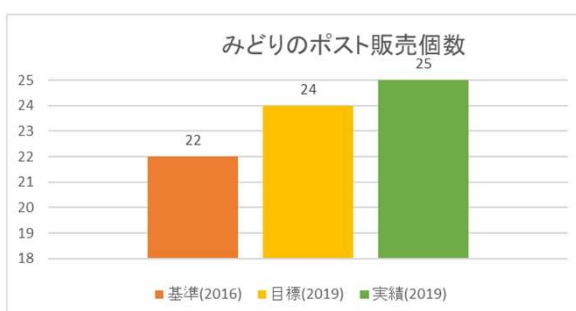
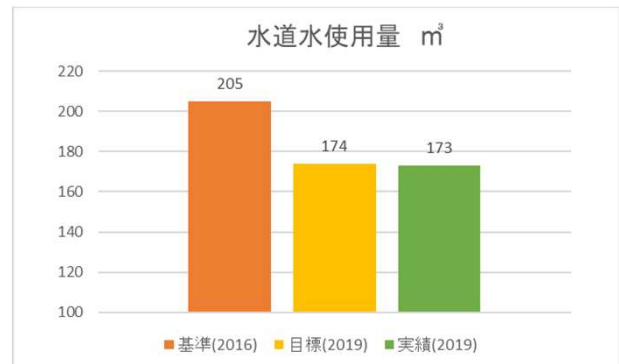
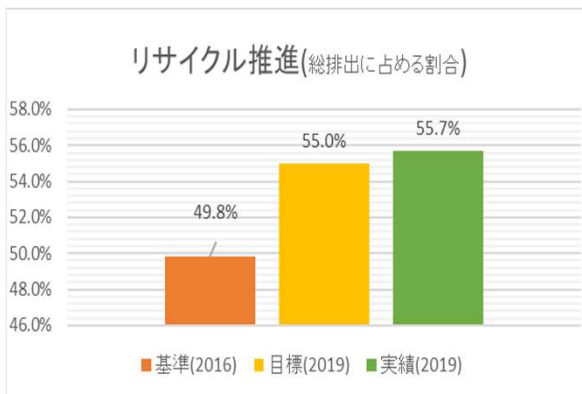
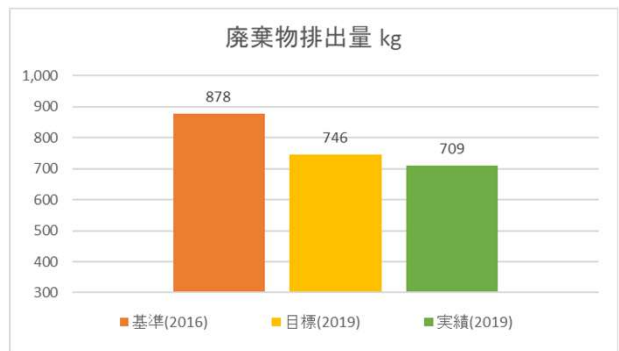
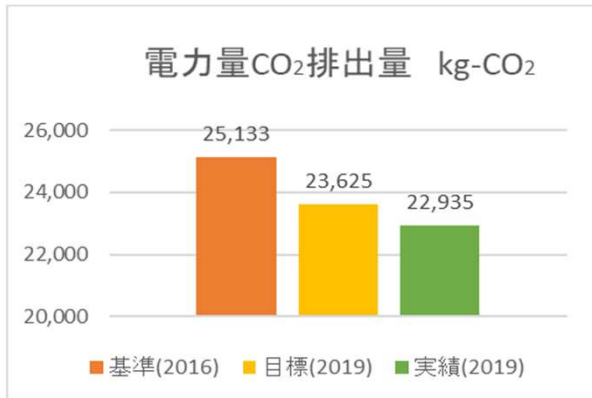
4. 環境経営計画

項目	環境経営目標	取組内容
二酸化炭素	電力のCO ₂ 排出量削減 基準年(2016年度)から ▲6.0%の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要照明・温水便座のスイッチOff クールビズ・ウォームビズ運動 エレベーター使用制限 パソコンの省エネ設定、不要時の電源off 省エネ型パソコンへの入替
	自動車燃料のCO ₂ 排出量削減 基準年(2016年度)から ▲15.0%の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ運転の展開 急加速・急停止の防止、アイドリングストップ 公共交通機関の利用 自転車の活用
	都市ガスのCO ₂ 排出量削減～ 基準年(2016年度)の ▲20.0%削減	<ul style="list-style-type: none"> 給湯器のスイッチをこまめに切る。 無駄なお湯を沸かさない。 省エネタイプ給湯器への変更。 削減の呼びかけ(意識啓蒙)
廃棄物	①廃棄物の総排出量の削減。 ～基準年(2016年度)の ▲15%削減	<ul style="list-style-type: none"> 書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 両面・集約等の複合機の機能の活用 コピー機器の枚数リセット履行
	②リサイクル比率の向上 基準年(2016年度) 50% → 55%に向上	<ul style="list-style-type: none"> 分別ごみの徹底・・・リサイクルの意識の高揚 シュレッダー、みどりのポスト活用の推進 教育、啓蒙
節水	水道水使用量の削減～基準 年(2016年度)の▲15%削減	<ul style="list-style-type: none"> 節水意識の徹底 漏水点検、機器点検と修理・取替
環境配慮 製品販売	みどりのポスト販売～基準年 (2016年度)の2個増加	<ul style="list-style-type: none"> 客先へのPR(環境配慮製品) ホームページへの掲載
労働生産性 向上の取組 推進	お掃除ロボットの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> メーカー検討 ・導入台数の検討 導入対象現場の検討 費用対効果の検討
地域貢献	社会貢献活動と 地域コミュニケーション 〇年間 14ポイント 外部貢献活動 1回1ポイント 本社周辺清掃 ”	<ul style="list-style-type: none"> 広島市大田川クリーンキャンペーン 7月 広島市平和公園美化奉仕活動 8月 広島市ごみゼロ・クリーンウォーク 6月 会社周辺の定期清掃活動 年12回

5-1. 環境経営目標の実績

項目	環境目標	2019年度 目標	2019年度 実績	評価
二酸化炭素 排出量の 削減	電力のCO ₂ 排出量削減 基準年比 ▲6% ※CO ₂ 排出係数は平成29年中 国電力の調整後係数 (0.677kg-CO ₂ /kwh)を使用	23,625kg-CO ₂	22,935kg-CO ₂	◎
	自動車燃料のCO ₂ 排出量 削減 基準年比 ▲15.0%	10,119kg-CO ₂	9,083kg-CO ₂	◎
	都市ガスのCO ₂ 排出量 削減 基準年比 ▲20%	26.4kg-CO ₂	23.1kg-CO ₂	◎
	計	33,770.4kg-CO ₂	32,041kg-CO ₂	◎
廃棄物削減	(1)総排出量削減 基準年比 ▲15%	総排出量 746kg	701kg	◎
	(2)リサイクル推進	総排出量の 55%	55.7%	◎
節水	水道水使用量の削減 基準年比 ▲15%	水使用量 174m ³	173m ³	◎
環境配慮 製品販売	みどりのポスト販売量	24個	25個	◎
労働生産性 向上の取組 推進	お掃除ロボットの導入検討	メーカー、台数、対 象現場の検討 費用対効果の検 討	試験的導入の 継続	-
地域貢献	地域貢献活動	15ポイント	11ポイント	×

5-2. 環境経営目標の実績～基準年度(2016年度)との比較



6. 環境経営目標の推進(3カ年の目標)

環境目標	2016年度 2016.7-2017.6 基準年	2019年度 2019.7-2020.6	2020年度 2020.7-2021.6	2021年度※ 2021.7-2022.6
電力のCO ₂ 排出量削減	25,133kg-CO ₂	△6% 23,625kg-CO ₂	△7% 23,374kg-CO ₂	△8% 23,122kg-CO ₂
自動車燃料のCO ₂ 排出量削減	11,905kg-CO ₂	△15% 10,119kg-CO ₂	△16% 10,000kg-CO ₂	△18% 9,762kg-CO ₂
都市ガスのCO ₂ 排出量削減	33kg-CO ₂	△20% 26.4kg-CO ₂	△22% 25.7kg-CO ₂	△25% 24.8kg-CO ₂
一般廃棄物の削減	878kg	△15% 746kg	△18% 720kg	△20% 702kg
リサイクル推進	49.8% (総排出量に占める割合)	55%	55%	56%
水道水使用量の削減	205m ³	△15% 174m ³	△15% 174m ³	△18% 168m ³
みどりのポスト販売	22個	24個	24個	25個
労働生産性向上への取組推進		お掃除ロボットの導入検討	お掃除ロボットの導入検討(継続)	未定
地域貢献活動 環境美化活動 参加	15P	15P	15P	15P

※2021年度については、2020年度の実績に応じて目標を再設定する

7-1. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

項目	環境活動計画の達成手段	取組結果とその評価 ※	計画達成のための次年度取組内容
電力のCO ₂ 排出量	不要照明スイッチoff ○ ケルビズ・ウォームビズ運動◎ エレベーター使用制限○ パソコンの省エネ設定◎ パソコンの省エネ機器入替◎ 教育、啓蒙○	目標達成率は102% (目標 23,625 実績 22,935) ◎コロナウィルス対策での2階層業務のため第4四半期の電力使用料は増加したが、年間目標は達成した。	不要照明スイッチoff ケルビズ・ウォームビズ運動 エレベーター使用制限 不要時の電源off パソコン省エネ設定 教育、啓蒙
自動車燃料のCO ₂ 排出量	エコドライブ運転展開◎ 急加速・急停車の防止○ アイドリングストップ○ 公共交通機関の利用○ 自転車の活用○ 教育、啓蒙△	目標達成率は110% (目標 10,119 実績 9,083) ◎第3四半期に使用量増加も第4四半期に外出自粛もあり、年間では目標を達成。	エコドライブ運転展開 急加速・急停車の防止 アイドリングストップ 公共交通機関の利用 自転車の活用 教育、啓蒙
都市ガスのCO ₂ 排出量削減	給湯器のスイッチをこまめに切る○ 無駄なお湯を沸かさないようにする○ 教育・啓蒙△	目標達成率は112% (目標 26.4 実績 23.1) 11月の事務所統合効果により目標を達成した。	給湯器のスイッチをこまめに切る。 無駄なお湯を沸かさないようにする。 教育・啓蒙
一般廃棄物の削減	①総排出量の削減 ・書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 △ ・両面、集約等の複合機の機能活用 ○ ・教育、啓蒙 ②リサイクル推進 ・分別ごみの徹底 ○ ・みどりのポスト活用 ・教育、啓蒙	① 目標達成率は105% (目標 746 実績 709) ② 目標達成率は101% (目標 55% 実績 56%) 引き続き「分別ごみの徹底」を行った。→4月に広島市のゴミ分類が変わり、分類表も変更。	①書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 両面、集約等の複合機の機能活用 リユース活動(裏紙、封筒の活用) ②分別ごみの徹底 みどりのポスト、シュレッダーの活用 ・教育、啓蒙
水使用量の削減	・節水呼びかけ(節水意識の啓蒙) ・機器点検と修理・取替え	目標達成率は100% (目標 174 実績 173) コロナ対応(手洗いの励行)により第4四半期は使用量が増加した。	・節水呼びかけ(節水意識の啓蒙、徹底)

7-2. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

項目	環境活動計画の達成手段	取組結果とその評価 ※	計画達成のための次年度取組内容
みどりのポスト販売量	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどりのポスト」拡販(客先への環境配慮製品の販売目標説明) △ ・ホームページへの掲載 ○ 	<p>目標他達成率 108% (目標 24 実績 26)</p> <p>目標は達成したが、まだまだ社内外で「みどりのポスト」への意識は低い。 引き続き意識高揚に勤める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどりのポスト」拡販(客先への環境配慮製品の販売目標説明) △ ・ホームページへの掲載 ○ ・社内でのみどりのポスト推進運動
※労働生産性向上の取組推進【お掃除ロボットの導入検討】	<p>目標「導入スケジュール沿った進捗」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの検討 ・導入台数検討 ・導入対象現場の検討 ・費用対効果の検証 ・その他 	<p>目標達成率 スケジュール遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月上旬に導入し試験的導入を開始 <p>◎顧客との調整(品質など)、作業員の不慣れ、機械トラブルなどでデータ取得遅れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試験的導入の継続 ・導入後のデータ取得(費用対効果の実証など) ・今後の方向性の決定
地域貢献活動	<p>環境美化活動への積極参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和公園美化奉仕活動 ○ ・太田川クリーンキャンペーン ○ ・広島市ごみゼロ・クリーンウォーク × <p>地域貢献活動 会社周辺清掃(毎月) ×</p>	<p>目標達成率 73% (目標 15ポイント 実績 11ポイント)</p> <p>○コロナ影響による、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市クリーンウォーク(6月)中止。 ・会社周辺清掃も4月以降中止 	<p>会社周辺清掃実施 平和公園美化奉仕活動 8月 太田川クリーンキャンペーン 6月</p> <p>※広島市クリーンウォーク7月中止</p> <p>会社周辺清掃も再開めど立たず</p>

8-2. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

地域貢献活動



9. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規	要求事項	遵守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	建築物における衛生的環境の確保に関する事業の登録 衛生的な環境の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る	適
水道法	公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与	適
医療法15条の2	医療関連サービスマーク(院内清掃業務)認定	適
警備業法	警備業の要件 警備業者の責務 登録基準	適
消防法	火災予防措置 火災・地震等災害の被害の権限	適
廃棄物処理法	分別廃棄、収集許認可確認 水銀使用製品の保管場所の表示	適
家電リサイクル法	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄(エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電気冷蔵庫)	適
グリーン購入法	環境負荷の少ない社会の構築 環境物品等の情報提供 国民の健康で文化的な生活の確保	適
道路交通法	事故防止 エコドライブ推進	適
フロン排出抑制法	フロン類の登録回収業者による適切な回収 (空調機)簡易点検の実施と記録簿の作成	適

◎維持審査での指摘事項を赤で表示。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営目標への
取組状況の評価



- ①「二酸化炭素排出量の削減」・「廃棄物削減」・「水資源削減」については研修・業務中に具体的な指示し徹底することで削減意識の高揚を図った。継続実施する。
- ②「環境配慮製品(みどりのポスト)の販売」についても継続実施する。
- ③社会貢献活動・地域貢献清掃はコロナ影響で目標を達成できなかったが、継続して実施する。
- ④掃除ロボットについては種々の要因で計画スケジュールから遅れているが、取組を継続して方向性を見極めていく。
- ⑤緊急事態等への対応
 - ・「大規模災害マニュアル」の見直し
 - ・「ウイルス感染症対策要領」の改定
- ⑥環境配慮型消毒剤をアピールする

環境経営システム各要素
の評価



- ①全事業所対象を継続する。
- ②環境関連法規遵守を徹底する。
- ③「教育体制(啓蒙)」の継続～
特に新型コロナウイルスから従業員と顧客を守るための教育の実施。
- ④現場を含んだ内部監査の仕組継続
- ⑤「持続可能な開発目標」～中でも環境について社員が考える契機として左記の『SDGsロゴマーク』を掲げる。

見直し(変更の必要性
と指示)



- ①「環境経営方針」(2017年版ガイドライン対応)については継続する。
- ②環境経営目標項目も継続する。